安全教育

第37号

平成28年
2月25日発行
発行責任者
齋 藤 武 彦

一般財団法人　横浜市安全教育振興会
〒231-0014　横浜市中区常盤町3-25サンビル7階　電話 045-662-7835　FAX 045-662-9831

子どもとの接点を大切にしたい

一般財団法人
横浜市安全教育振興会
理事長　齋 藤 武 彦

平成27年度が終わろうとしています。安振会は、昨年度より一般財団法人に移行致しました。しっかり準備を整えて移行したつもりではございましたが、二年という時間の経過に伴い、移行時には見えていなかったことが見えてきて、こまごまと対応をしてきた一年間でした。今後も対応が必要になると思われます。安振会の諸事業がより円滑に実施できるよう、神奈川県教育委員会や横浜市教育委員会など関係機関にご指導をいただいたり、学校やＰＴＡ等に相談させていただいたりしながら頑張りたいと存じます。

ご案内のように、安振会は一般財団に移行する前年度の平成25年度から「ＰＴＡ・青少年教育団体共済法」に基づいて共済事業を実施しております。会員の皆様から戴いております会費500円の内245円が共済掛金です。それを原資に、事故に対する共済金（見舞金）給付事業と安全教育推進のための普及啓発活動の二つを共済事業として実施しています。

さて、共済金（見舞金）給付については皆様よくご理解いただいていることと思いますが、もう一つの柱である安全教育推進のための普及啓発活動についてはいかがでしょうか。もしかするとあまりご理解をいただいていない事業かもしれません。具体的な事業を申し上げれば、次のようになります。

1．会報の発行

いまお目通しをいただいているこの冊子の発行です。その年度に実施した事業について、何をどのように実施したのか、約10ページにまとめています。年1回、3月にお手元にお届けしています。会員の皆様に、子どもたちの健康と安全についてご理解を深めていただくことをねらいとしています。

2．ホームページ更新

会報が年度に1回の発行ですので、なかなかタイムリーに情報提供ができません。ホームページを更新することで、なるべく新しい情報をお届けするよう心がけています。

3．安全教室の開催

救急法教室と防災教室をそれぞれ年に6回ほど実施しています。救急法教室はＡＥＤの講習を、防災教室は地震や火事への対処をメインに行っています。（今年度は、昨年度まで会場とさせていただいておりました横浜市民防災センターが改修工事だったため、救急法教室は安振会事務局にて実施し、防災教室は一年間お休みに致しました。）

4．安全教育講演会の開催

これも年に1回ですが、安全や健康、青少年の健全育成などをテーマに講師をお招きして講演会を開催しています。

5．「健康と安全」ポスター展の開催

健康、安全さらには環境問題までをテーマとしたポスター展を毎年開催しています。夏休み前に賛助会員校にお願いして児童・生徒の作品を募集し、夏休み明けに審査、例年12月にポスター展を開催しています。

こうしてご覧いただくと、安全教育推進のための普及啓発活動は、共済金給付事業と対をなす「事故を防ぐための事業」であること、保護者の皆様を始め大人を対象としたものがほとんどであることがお分かりいただけることと思います。子どもとの接点は、唯一ポスター展のみ。今後、安振会の事業は見直しが必要になりますが、ポスター展のように、子どもとの接点が持てる事業はぜひ実施できる方向で考えていきたいと思っております。今年度、ポスター展の作品審査をお務めいただいた先生が、表彰式の講評で次のようにお話をなさいました。

「今日表彰されたみなさんの作品は、単に上手に描けていたから表彰されたのではありません。テーマに選んだ健康や安全について、みなさんの強い思いを感じました。それがポスターにメッセージとして表れていました。だからいいポスターになり、私がたくさんのポスターの中から選ぶことにつながったのです。」

ポスター展については、来年度も実施していきたいと考えています。多くの児童・生徒が健康や安全について考え、自分の思いを持ってもらう機会にしていくことができればと思いますし、そのためにも、もっと多くの応募が寄せられるように工夫していきたいと思っています。拙稿を読んでいただいた皆様のポスター展を始め諸事業へのご理解とご協力をお願いして、巻頭言とさせていただきます。

― 生徒が主体的に学び、一人ひとりの安全意識を高める委員会活動 ―

横浜市立原中学校

1 本校の現状

昨年、全校生徒を対象にアンケート調査を行ったところ、「運動中にケガをするのは当たり前」と考えている生徒が75％、「災害について知りたいと思わない」と考えている生徒が58％もおり、安全に行動しようとする意識がやや低いことが明らかとなった。そこで保健委員会では、「ケガを１つでも減らすこと」と「全校生徒の防災意識を向上させること」を目標に掲げ、取り組みを進めている。

▲発表を聞く生徒の様子

2 ケガの予防についての取り組み

（1）生徒による調査研究

保健委員会の生徒に、「何について調べたいか」とアンケートをとり、グループに分かれて調査をした。

①昨年度受診をしたケガの件数や内容について

受診をしたケガを月や曜日、時間帯、部活動ごとに集計をしたところ、本校では部活動中のケガが大半を占め、４月から７月にかけてケガが増加していること、特に金曜日にケガが多く、水曜日にケガが少ないことなどが分かった。

②各部活動の安全対策について

▲生徒の作成したスライド

各運動部の顧問へインタビューを行い、どのようなケガが多いか、どのような対策をしているか、ウォーミングアップ・クーリングダウンの有無について調査した。ウォーミングアップは全ての運動部で行っていたが、クーリングダウンは行っていない、もしくは各自で行う、という部が多くあった。

③運動によって負担がかかりやすい部位について

オスグッド病やテニス肘など、中学生に起こりやすいケガを取り上げ、原因や予防のためのストレッチ、応急手当の方法を調査した。また、ケガをしないためのポイントを挙げ、クーリングダウンの大切さにも触れた。

④ケガの予防や疲労回復に効果のある食事について

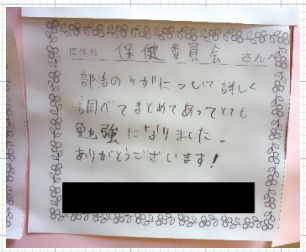
企業の栄養士の方を講師としてお招きし、運動する中学生に特に必要な栄養素について学んだ。そして、学んだことをもとに１日の食事のメニューを考え、夏休みに調理実習を行った。

▲調理実習の様子

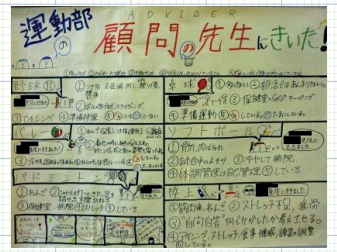
（2）保健体育科教諭からの講話

９月１１日に行われた前期学校保健委員会では、テーマを「健やかな身体でスポーツを！～自分の身体について学び、運動によるケガを防止しよう～」と設定し、保健委員だけではなく、それぞれの運動部の代表者も参加した。保健委員の調査報告を行った後、本校保健体育科教諭より疲労回復に効果のあるマッサージについて紹介があった。マッサージの効果や基本的な手法を学んだ後、それぞれのスポーツでどの筋肉を使うかを確認しながら実際に自分の身体をマッサージした。各部活動の代表として参加した生徒は、普段自分が酷使している筋肉を丁寧にマッサージし、学校保健委員会終了後には各部活動に持ち帰り、報告を行った。

（3）文化祭での展示発表



▲展示を見た生徒から



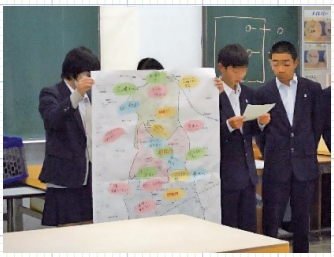
▲生徒の作成した模造紙

学校保健委員会で発表したことを、模造紙にまとめ10月末にある文化祭で展示した。学校保健委員会後、クラスでも

報告を行ったが、今回展示をしたことで足を止めてじっくりと読む生徒が多く、自分も気をつけたいなどの感想があった。

3 防災意識の向上についての取り組み

(1)防災安全マップ作成

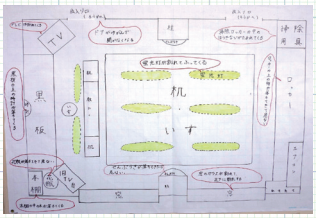


▲防災安全マップ

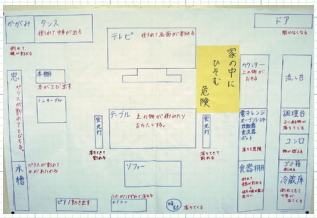
学区内を実際に歩いて危険な場所を探した。毎日歩いている通学路でも、道の広さや交通量、街灯の有無など、普段とは違う視点で地域を見ると、新たな発見があった。また、家族や友人、地域の方にも話を聞き、情報収集をして一枚の地図にまとめた。

(2)危険な箇所探し

自分の家や教室にいた時に、地震によって想定される被害を考えた。蛍光灯や窓ガラスなど、身近にあるものが大きな揺れによって破損する可能性に気づき、なぜ机の下に隠れなければならないのか、どうして出入口の確保が必要なのかが理解できた。



▲危険な箇所探し(教室)

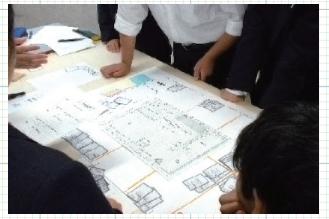


▲危険な箇所探し(自宅)

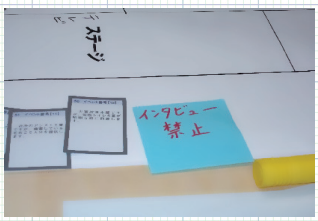
(3)HUG(避難所運営ゲーム)

▲HUGの様子

区役所・消防署にご協力いただき、「避難所運営ゲーム」(静岡県危機管理部作成)を体験した。このゲームは、次々と読み上げられる避難者の情報をもとに、その人たちをどこへ誘導するかを考えるゲームで、避難者はそれぞれ、性別、年齢、家族構成や抱えている事情などが詳しく設定されていて、避難所で起こるトラブルにも対応しなければならないものである。特に、ペットを連れている人や煙草を吸いたいという人へどう対応するかが難しかったようで、悩んでいるうちに次の避難者が来てしまう、というグループがほとんどであった。明確な答えがないため、大人でも悩んでしまうゲームだが、取材に来たマスコミに対して、避難者の方の気持ちを考えインタビューを禁止したグループや、妊娠している人や高齢の方を移動しやすい場所へ誘導していたグループもあり、避難してきた人の気持ちや困っていることを想像し、誠実に対応しようとする姿を見ることができた。



▲机上の様子



▲インタビュー禁止

まとめ

「ケガの予防」、「防災意識の向上」を目標に掲げ、保健委員会の取り組みを始めて二年が経つ。保健委員会の生徒が学んだことは各学級で報告させるとともに、全校集会や昼放送を利用して全校生徒へ伝えている。

「ケガの予防」については、保健委員会の生徒は「学んだことを全校のみんなへ広めていきたい」、「ケガを一つでも少なくしたい」と積極的に活動を行っており、その結果、医療を必要としたケガが一昨年は180件あったが、昨年は117件、そして今年は66件(12月現在)と減少させることができた。また、生徒たち自身がケガを防ぐために声を掛け合いながら活動する姿を見る機会も増えてきた。

また、「防災意識の向上」については、昨年度末に行った生徒へのアンケートでは、「災害について知りたいとは思わない」と考えている人が52%おり、今以上に防災意識の向上が必要であると考えた。「防災安全マップ」作りや「危険な箇所探し」では、常に危険を意識し自分の身は自分で守ることを学び、「避難所運営ゲーム」においても、初期の運営の仕方により避難所の混乱を防ぐことができ、そして、災害初期に現地にいる中学生の力が、避難所運営上とても重要であることが分かった。原中学校の生徒一人ひとりが、安全に安心して過ごせる地域づくりを行い、さらに災害時には、自分の地域の重要な役割を担うという意識をもてるよう、防災に関する学習を広めていかなければいけないと感じた。保健委員会としても今後もこの取り組みを続け、委員会の生徒だけではなく全校生徒に安全意識が広がっていくような活動を目指したい。

自転車にまつわるルール、お子さんに正しく教えられますか

横浜市PTA連絡協議会

横浜市ＰＴＡ連絡協議会で取り扱っている賠償責任保険等の事例で自転車が関わる事故が多いこと、また平成27年6月1日道路交通法の一部改正により違反を繰り返す自転車利用者に「自転車運転者講習」の受講が義務付けられるようになったことを受けて、改めて保護者がルールを認識し、自分の子どもや学校・地域の子どもたちに向けた啓発活動を行えるように、研修会にて自転車をテーマに取り上げました。

※「自転車運転者講習制度」とは・・・

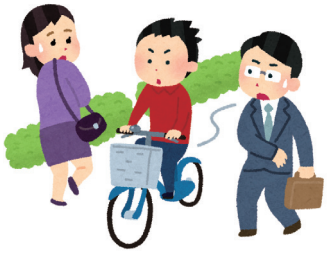
- 危険な違反行為を3年以内に2回以上検挙されまたは事故を起こした悪質自転車運転者は「自転車運転者講習」を受講しなくてはならない（14歳以上が対象。手数料5700円）
- 受講命令に従わない場合は5万円以下の罰金が科せられる

平成27年度 役員理事研修会

日　時：平成27年12月9日（水）　神奈川県建設会館　講堂
テーマ：「自転車にまつわるルール、お子さんに正しく教えられますか」
講　師：神奈川県安全防災局安全防災部くらし安全交通課　中山雅幸氏

27年3月まで神奈川県警の警察官として様々な事故現場に立ち会われてきた中山氏をお迎えして、自転車事故の再現ＤＶＤの映像とそれに伴う解説や経験談を交えた講演を開催しました。スタントマンによる自転車衝突の再現はとてもショッキングな映像でしたが、それが他人事ではなくわが子や自分の身の回りでも起こりうることを再認識し、なぜこのような事故が起きてしまうのか、その原因を講師に解説していただくことでどのように気を付けたらよいのかを考える学びの時間になりました。また自転車事故の保険・補償についてもアドバイスをいただき、現在加入している保険の特約の見直しや、「自転車安全整備店」にて年に1回自転車の整備点検を受けると「ＴＳ（Traffic Safety）マーク」を貼付され、それには傷害保険・賠償保険がつくという情報もご紹介いただきました。

この研修会には市内18区のＰＴＡ代表の方、高等学校部会および特別支援学校部会のＰＴＡ代表の方が出席されたのでこれを市内各単位ＰＴＡまで広めやすいように資料を2種類取り寄せ、市Ｐ連加盟校全校へ送付いたしました。そこには自転車運転者講習の対象となる「14項目の危険行為」についても詳しく掲載されています。その資料をご活用いただくと共に、今回のような神奈川県安全防災局の「くらし交通安全課」や送付資料にあります横浜市道路局の「交通安全・放置自転車課」など地域や学校、子どもに向けた啓発活動を行っている部署、団体等も各区部Ｐ連や単Ｐにてご活用いただき啓発を広めていただけたらと願っております。



子どもの自転車社会は大人が買い与えて乗り方を教え、そばについてルールを教えるところから始まりますが、いずれは大人の目の届かないところへ広がっていきます。市Ｐ連では知識や運転技術が未熟な小学生はもちろんのこと、行動範囲が広がり保護者の目が届きにくくなった中高生にも改めて啓蒙していきたいという想いから今回のテーマを選定しました。子どもに教えるためにはまず大人が正しい知識や認識を得ていなければなりません。保護者自身やその周りの大人にもこの機会に自転車を含む交通ルールや危険性を見直していただけたらと思います。

誰もが被害者にも加害者にもならないために。そして子どもたちの幸せのために「おとなも育とう、こどもと共に～ＰＴＡで築く信頼・規範・ネットワーク～」のスローガンのもと、横浜市Ｐ連は今後とも取り組んでまいります。

第13回学校給食展の開催

横浜市栄養教諭・学校栄養職員
学校給食展実行委員会代表
横浜市立美しが丘西小学校　栄養教諭　巴　浩子

昨年12月12日(土)横浜そごう前の新都市プラザで「心とからだにおいしい給食」をテーマに学校給食展を開催しました。今回で13回となりました本展示会に初回からご支援をいただいています(一財)横浜市安全教育振興会には、心より感謝を申し上げます。

栄養教諭・学校栄養職員の活動と学校給食展

学校給食展を企画運営するのは、横浜市立小学校、特別支援学校に勤務する栄養教諭・学校栄養職員です。栄養教諭・学校栄養職員は、給食に関する業務を行うことはもちろん、学校における食育を進める上で中心となる存在です。

子どもたちが食を通して自らの健康管理ができるようになることが学校における食育の目的です。各学校では、給食時間の栄養指導や食事マナーの指導をはじめとして、食に関する知識を定着化してより実践的なものとするために教科等と食を関連づけた授業、地域生産者との連携により市内産物を取り入れた給食の実施などをそれぞれの教育目標や地域性などにあわせて日常的に進めています。

学校給食展は、このような学校における食育の前線にいる栄養教諭・学校栄養職員が市民の皆様に対して、給食のよさや大切さなどをアピールする大切な場になっています。

第13回学校給食展の様子

給食をテーマにした展示会は、全国で様々な団体が行っているようですが、私たちが開催するものは、体験・参加型というのが特徴です。今回は、「食育スタンプラリー」を行いました。元気度チェック(栄養相談)、豆つまみ(はしの使い方)、食べ物シアター(栄養指導)、食育や献立作りの紹介(展示)、栄養教諭・学校栄養職員研究会のホームページ体験の５つのコーナーを回わり、スタンプを集めて楽しむものです。他にも人気メニューコンテストと称して自分が好きな給食献立に投票するコーナーを設け、参加型の給食展として充実させました。

おいでいただいた方々からは、「はしの正しい使い方などを子どもと一緒に体験できた。」「もらったパンフレットなどを参考にして食事を見直したい。」「昨年も来た。今年もやっているのを見かけて、また立ち寄った。」など嬉しい反響がありました。

毎年、来場者は約300人を超え、その内訳は20歳代までが約30%、30~40歳代が約35%、50歳代以上が約35%です。今後も幅広い年齢の方々においでいただけるよう、活動を続けて参ります。

安振会の

安全教育講演会2015

平成28年１月22日（金）
午後１時45分～午後３時30分

横浜市教育会館ホール

「日本経済再生の処方箋」
～教育の強化こそが日本を救う～

講師：**岸　博幸**氏
（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

各学校のPTA・学校関係者を対象に、「経済」と「教育」別々に扱われることが多いテーマを「経済の視点から見た日本の教育」として慶應大学大学院教授の岸博幸先生にお話していただきました。

役員コンプライアンス研修会

平成27年11月26日（木）

一般財団法人
横浜市安全教育振興会 会議室

文科省の担当の方に指導していただきました。

会報の発行

第37号 平成28年2月25日　加入校全世帯へ配布

年間行事

平成27年度安全教室

第１回	７月17日(金)	15名	第４回	10月30日(金)	16名
第２回	９月18日(金)	18名	第５回	11月13日(金)	16名
第３回	10月16日(金)	16名	第６回	11月27日(金)	16名

午前９時30分～午前11時30分

一般財団法人
横浜市安全教育振興会 会議室

日本赤十字社の指導員による
心肺蘇生法、「AED」の取扱い、止血法 等

アンケート結果

- AED を実際に使用し練習できたので貴重な体験だった。
- 定期的に受講したいと思った。
- 勉強したことを周りの人にも伝えたいと思った。
- 身近な場所で AED がどこにあるのか確認しようと思う

第29回「健康と安全」ポスター展

期間
平成27年12月15日(火)～平成27年12月20日(日)

会場
横浜情報文化センター

応募点数
232点

受賞作品
特別賞12点　入選15点　佳作16点

審査委員
横浜市立中学校美術研究会会長
長澤　博昭　先生(横浜市立芹が谷中学校長)
横浜市立小学校図画工作研究会会長
瀧澤　優子　先生(横浜市立西寺尾小学校長)

第29回「健康と安全」ポスター展受賞作品

横浜市長賞

帰ったらすぐに手洗いうがい
綱島小学校６年　早川　保嵩

自然を守ろう
左近山中学校１年　橋本　あかり

横浜市教育委員会 教育長賞

毎日　朝食
横浜国大附属横浜小学校３年　島野　沙羅

バランスごはんがわたしをつくる
新田中学校２年　山口　凜

横浜市教育委員会 教育委員会賞

好ききらいをなくそう
綱島小学校５年　山端　慶

地球は宇宙遺産　みんなで守ろう！
左近山中学校１年　鈴木　椋巴

一般財団法人 横浜市安全教育振興会 理事長賞

みんなで食べれば幸せ
瀬谷さくら小学校５年　川口　藍

あなた独りで吸っているのではない
左近山中学校２年　入部　花華

横浜市ＰＴＡ連絡協議会 会長賞

早ね早起き朝ごはん
茅ヶ崎東小学校５年　小宮山　優乃

タバコの害　考えよう
左近山中学校２年　香川　聖龍

神奈川新聞社賞

やさいをたべよう
ろう特別支援学校１年

ＳＴＯＰ　タバコ
浜中学校２年　東本　美紀

受賞おめでとうございます

平成27年度　加入状況

校　　種	賛助会員数	世　帯　数
小学校	337	143, 530
中学校	134	69, 466
高等学校	5	4, 230
特別支援学校	12	1, 483
総　　計	488	218, 709

（小学校には、横浜国大附属横浜小が含まれる）

平成27年度　評議員名簿

氏　名	備　　考
相原　和行	横浜市PTA連絡協議会会計
大槻　繁美	学識経験者（(公財)よこはまユース理事総務部長）
工藤　春治	学識経験者（横浜市子ども会連絡協議会会長）
栗原　　聰	学識経験者（NPO法人ハマのトウダイ理事長）
堀　　英雄	学識経験者（神奈川県立高等学校安振会評議員）
古橋　正人	横浜市教育委員会総務課長
三嶽　昌幸	横浜市立中学校長会代表
丸山　智美	横浜市PTA連絡協議会書記

平成27年度　役員・審査委員　名簿

役職名	氏　名	備　　考	
理 事 長	齋藤　武彦	学識経験者	○
副理事長	遠藤志津江	学識経験者	○
副理事長	中村　正孝	学識経験者	○
専務理事	山元　泰弘	安振会事務局長	○
常務理事	横田　竜一	学識経験者	○
理　事	大平　　力	学識経験者	
理　事	三枝木鉄朗	学識経験者	
理　事	青木俊太郎	学識経験者	
理　事	竹本　靖代	学識経験者	
理　事	栗原　秀泰	学識経験者	
理　事	住田　昌治	小学校長会代表	○
理　事	諏訪部真史	中学校長会代表	○
理　事	井川　章弘	特別支援学校長会代表	
理　事	森川　智之	横浜市PTA連絡協議会会長	○
理　事	生田　麻實	横浜市PTA連絡協議会副会長	○
理　事	山下久美子	横浜市PTA連絡協議会副会長	
監　事	田屋多恵子	小学校長会代表	
監　事	星川　　薫	横浜市PTA連絡協議会会計	

○印は審査委員兼務

審査委員	紺野　　勉	横浜市医師会推薦	
審査委員	和田　廣己	横浜市医師会推薦	
審査委員	神保　裕紀	横浜市歯科医師会推薦	

平成27年度　上期　供花料等　給付一覧

平成27年4月1日～平成27年9月30日まで　（単位　円）

給付別種・事由		対　象	給付件数	給 付 額
供花料等	(1)児童生徒供花料	児　童	4	120, 000
		生　徒	1	30, 000
	(2)保護者供花料	小学校	30	900, 000
		中学校	42	1, 260, 000
		高校・特別支援	6	180, 000
	(3)証明書代等		22	31, 490
合　　計			105	2, 521, 490

費　　目		件　数	金　額
手数料等	(1)振込手数料	100	43, 632
	(2)その他手数料	0	0
合　　計		100	43, 632
支　払　総　額			2, 565, 122

平成27年度　上期　共済　見舞金給付一覧

平成27年4月1日～平成27年9月30日まで　（単位　円）

給付別種・事由		対　象	給付件数	給 付 額
1 児童生徒事故見舞金	(1)傷害事故	児　童	971	10, 799, 444
		生　徒	92	1, 232, 230
	(2)障害	児　童	3	189, 080
		生　徒	0	0
	(3)交通事故	児　童	35	113, 320
		生　徒	11	33, 000
	小　　計		1, 112	12, 367, 074
2 児童生徒弔慰金	(1)学校管理下外事故死	児　童	0	0
		生　徒	1	500, 000
	(2)交通事故	児　童	0	0
		生　徒	0	0
	(3)登下校中の交通事故死	児　童	0	0
		生　徒	0	0
	小　　計		1	500, 000
3 PTA主催共済事故見舞金	(1)傷害事故		8	254, 720
	(2)障害		0	0
	(3)交通事故		1	3, 000
	(4)事故死		0	0
	(5)往復途次の交通事故死		0	0
	(6)病死等		0	0
	小　　計		9	257, 720
合　　計			1, 122	13, 124, 794

費　　目		件　数	金　額
手数料等	(1)振込手数料	875	259, 740
	(2)その他手数料	4	1, 620
合　　計		879	261, 360
支　払　総　額			13, 386, 154

安全教育推進団体に対する助成

申請のあった単位PTAに対する助成　1校4万円（上限）　380校	14, 945, 770
区・部会PTA講演会研修会等助成	3, 830, 000
横浜市PTA連絡協議会事業助成	2, 550, 000
横浜市立小学校長会「専門研究事業」	300, 000
第32回横浜港カッターレース	100, 000
第58回全国特別活動研究協議会第7回関東地区特別活動研究協議会神奈川大会	300, 000
第13回学校給食展示会	200, 000
第20回野島クリスマスキャンプ2015	250, 000
第13回横浜市立小学校タグラグビー交流会	100, 000
（社）横浜勤労青少年福祉協会「夏休みお楽しみ教室」	100, 000
第64回関東地区聾学校バレーボール大会	100, 000
関東甲越地区肢体不自由特別支援学校PTA連合会PTA・校長会合同研究会神奈川大会	300, 000
第48回神奈川県公立小学校教頭会研究大会横浜大会	100, 000
平成27年度関東地区公立小・中学校女性校長会総会・研修会	50, 000
磯子スポーツ交流会小中学校インディアカ大会	50, 000
横浜市健民少年団「夏期キャンプ訓練会」	50, 000
第47回関東ブロックPTA研究大会横浜大会協賛	5, 000, 000

（平成27年12月現在）

区・部会講演会研修会一覧

区　名	開催日	事　業　名	会　場	講　師
鶴　見	12/5（土）	講演会「未来を創るコミュニケーション」～コーチングの考え方を学ぶ～	鶴見公会堂	鈴木　安子
神奈川	12/13（日）	講演会「地球のステージ」	神奈川公会堂	桑山　紀彦
西	12/8（水） 2/9（火）	講演会「今、子育てで大切なこと～みんなで支える遊びと甘え～」 年間活動報告会	西公会堂 稲荷台小学校	渡辺　久子
中	11/9（月） 1/18（月）	スポーツ文化交流会「嚥下＝口から食べること」 講演会「現在の児童・生徒の食の問題とその具体的な取り組み」	山元小学校　体育館 横浜開港記念会館	村上あゆみ 久保　里香 今平　茂
南	1/30（土）	講演会「～家庭・地域で考える～我が子を犯罪の被害者・加害者にしない子育て」	蒔田中学校	幸島美智子
港　南	9/18（金）	講演会「笑顔を引き出す話し方」	港南公会堂	桂　歌助
保土ヶ谷	12/8（火）	講演会「子どもを伸ばすポジティブなコミュニケーション方法」	保土ヶ谷公会堂	大儀見浩介
旭	11/30（月） 12/15（火）	講演会「サイバー犯罪防止教室」 文章教育を通して考えるこれからの子どもたちへの教育のあり方（ワークショップ）	旭公会堂 白根小学校ＰＴＡ会議室	和田　史 神崎　史彦
磯　子	1/29（金）	講演会「金ピカ先生の英語のトリセツ」	磯子公会堂	佐藤　忠志
金　沢	12/3（木）	講演会「レモンさんのビタミントーク～PTAこんなにおもしろい!!～」	金沢公会堂	山本シュウ
港　北	1/20（水）	講演会「あした笑顔になあれ!!」	港北公会堂	水谷　修
緑	12/14（月）	講演会「親だからできること」	みどりアートパーク	高濱　正伸
青　葉	11/26（木）	講演会「子は育ち、親も育つ。楽しまなくっちゃもったいない」	青葉公会堂	高野　優
都　筑	1/22（金）	講習会「夢を追い続けて…諦めない！ポジティブに！いつも元気なその秘訣」	都筑公会堂	内村　周子
戸　塚	12/4（金）	講演会「命の語り」	戸塚公会堂	佐久間レイ
栄	12/2（水）	講演会「子供のいじめはだれの真似？」～本当の原因を探すために～	栄公会堂	佐久間レイ
泉	11/14（土） 12/5（土）	講演会「今！子どもの足と体が危ない!!」～子どもに激増する「外反母趾・浮き指・扁平足」足と健康との深い関係～ 指導者研究会「子どもたちのSOS!!届いていますか？」子どもたちを取り巻く様々な問題。今、私たちに出来る最善のサポートとは？	泉公会堂 ＪＡ横浜みなみ総合センター	笠原　巌 池田　正則
瀬　谷	11/25（水）	講演会「思春期ブギ・反抗期と思春期のトリセツ」	瀬谷公会堂	高野　優
高　校	11/4（水）	講演会「これから」が「これまで」をきめる ～子どもの挫折にどのような関わりが大切か～	港南区民文化センター ひまわりの郷	佐治　晴夫
特別支援	1/19（火）	講演会「可能性を信じる子育て～自閉症のきみの心をさがして～」	港南台ひの特別支援学校	うすいまさと

平成27年度　修学奨励金の給付

小　学　校	156人	
中　学　校	50人	
高　等　学　校	4人	
特別支援学校	13人	
計	223人	7, 410, 000円

（給付額は小学生３万円、中学生４万円、高校生５万円）

平成27年度　賠償事故状況概要

総数	校内	校外	自動車	対人	ガラス	メガネ	その他
183	48	135	69	31	29	17	37

■ガラス破損の内訳

校内12件		
小学校	中学校	特別支援学校
6件	6件	0件

校外17件		
小学校	中学校	特別支援学校
11件	5件	1件

■自動車損傷の原因

自転車	石
28件	21件

ボール	その他
9件	9件

■自転車事故の内訳原因

対車	対人	その他
28件	11件	1件

安全教育団体に対する助成

各団体における活動の一コマ

横浜市PTA連絡協議会

第32回 山下公園ファミリー写生大会

実施日■平成27年4月26日(日)
展覧会■平成27年6月5日(金)～6月8日(月)
表彰式■平成27年6月6日(土)
選外作品返却日■平成27年6月20日(土)

場　所■山下公園(写生大会)／横浜市民ギャラリー(展覧会)／横浜市健康福祉センターホール(表彰式)／横浜市青少年育成センター(作品返却)
参加者■約17000名

晴れ渡った清々しい陽気の中、今年も大勢の方が参加され、皆さん、思い思いに作品を描き上げ楽しい一日となりました。今回は、展覧会場の急な変更にも関わらず、展覧会にも多数足を運んでいただきました。

また、選外作品の返却も数年前から行っており、年々定着し、こちらも数多くの作品をご本人にご返却することができるようになりました。これからも参加者皆様の恒例行事となるよう継続して参ります。

単P事業助成

スポーツ教室（キンボール）

事　例■横浜市立大口台小学校
実施日■平成27年６月13日(土)

大口台小学校創立 60 周年記念イベントの一環として、スポーツ教室が開催され、神奈川区さわやかスポーツ普及委員会の皆様のご指導の下、「KIN-BALL（キンボール）」というスポーツを体験しました。カナダで生まれた屋内球技で、直径 122cm、重さ 1kg の大きなボールを１つ使用します。チーム一丸となって全身でボールをレシーブ（床に落とさずキャッチ）することや、「オムニキン！」という独特な掛け声など、新しいスポーツに出会い、たくさんの汗と笑顔が見られた素晴らしい機会となりました。

単P事業助成

レインボーフェスタ☆みなみ

事　例■横浜市立中村特別支援学校
実施日■平成27年9月26日(土)

中村特別支援学校では、毎年９月末に開催されるレインボーフェスタ☆みなみに、中華獅子舞を招き、地域の人々と迫力ある演舞を楽しみました。

色鮮やかな獅子に目を見張る子やおそるおそる手を伸ばす子、大きなドラの音に驚く子、頭をかまれて泣き出す子…

こども達の表情は様々でしたが、きっとひとりひとりの心に残るいい経験になったことと思います。

区・部講演会・研修会助成

青葉区PTA連絡協議会

事　例■青葉区PTA連絡協議会　PTA交流全体会
事　業■「子は育ち、親も育つ。楽しまなくっちゃもったいない」
講　師■高野　優氏
実施日■平成27年11月26日(木)
会　場■青葉公会堂

高野先生が描くマンガをスライドで見ながらお話を聞く、というライブ感溢れる独特のスタイルで行われました。子どもに「あなたは宝物だよ。大切に思っているよ。」と伝えることが大事であること。また、我が子だからこそ掛ける言葉は大切に選びたい、ということ。忘れてしまいがちな貴重なポイントをご自身の経験を交え、お話しいただきました。笑って泣いて感動して、そして癒される講演会となりました。

第64回 関東聾学校バレーボール大会

実施日■平成27年７月22日(水)～7月24日(金)
会　場■県立体育センター

関東地区の聾学校 11 校、125 名の選手が参加し、日ごろの練習の成果を発揮して夏の暑さ以上の熱い戦いを繰り広げました。64 回を数える伝統ある大会。今回は横浜校が主管校として中学部、高等部の生徒を中心にサポートスタッフを務め、大会を盛り上げました。

第20回 野島クリスマスキャンプ2015（20周年記念）

場　所■横浜市野島青少年研修センター
日　時■ふれあいの会　平成27年11月29日(日)
　　キャンプ当日　平成27年12月12日(土)～13日(日)
参　加■ふれあいの会　児童生徒･保護者･ボランティア等 107名
　　キャンプ当日　児童生徒･保護者･ボランティア等 220名
　　宿泊 117名

ふれあいの会はボランティアとゲームをして交流した後、㈱島勝提供のチキンを使って保護者がカレー作り。キャンプ1日目は津波対応避難訓練展望台(57M)に。開会式では自己紹介。楽しみなディナーはローストチキンがメインディッシュ。クリスマスらしい雰囲気に飾りつける。キャンドルは金沢中弦楽部とハワイアンの演奏に合わせて歌い踊る。プレゼントを貰い終了。

2日目はクリスマスリース作りを楽しんだ。第20回記念なので、第15回から第19回の参加者もあり盛大だった。安振会をはじめ多くの方々に支えられて続けられることに感謝しています。